

絵文字による感情測定・感情の振り返りシステム

渡邊将太¹⁾ 松村耕平¹⁾ 沓澤岳²⁾ 小林吉之²⁾

1) 立命館大学大学院 2) 運転機能拡張研究チーム

開発の背景

日常的に感情をテキスト形式で報告すると負荷が高い
そのため、簡易な感情の報告方法が必要に

絵文字に注目！ 😊 😡 😞 😇

本研究のポイント

- ✓ 絵文字を用いることで容易に感情を測定できる
- ✓ 感情と同時にGPSや心拍数など様々な背景情報も取得可能
- ✓ 背景情報を用いた感情の振り返りで感情の傾向や原因を理解できる

Keywords：感情、心身状態のデジタル化、健康増進

継続的に感情を測定する



感情測定方法

報告時間になると
スマートウォッチが振動

表示された絵文字の中から
感情に適したものを選択

再選択する場合のみ
BACKボタンをタッチ



絵文字による感情測定の評価

[目的]
絵文字による測定が従来の文字で感情を入力する方法と比べて有効であるか？

[参加者]
19~23歳の大学生20人

[方法]
14日間、1日16回の感情報告を依頼
30~60分間隔で報告を促す通知をする

絵文字の回答の容易性により継続して多くの回答ができた可能性

[結果]	平均回答率	平均入力時間
絵文字	81%	3.8s
文字入力	50%	9.5s

文字入力は手が空いてない時は回答できない

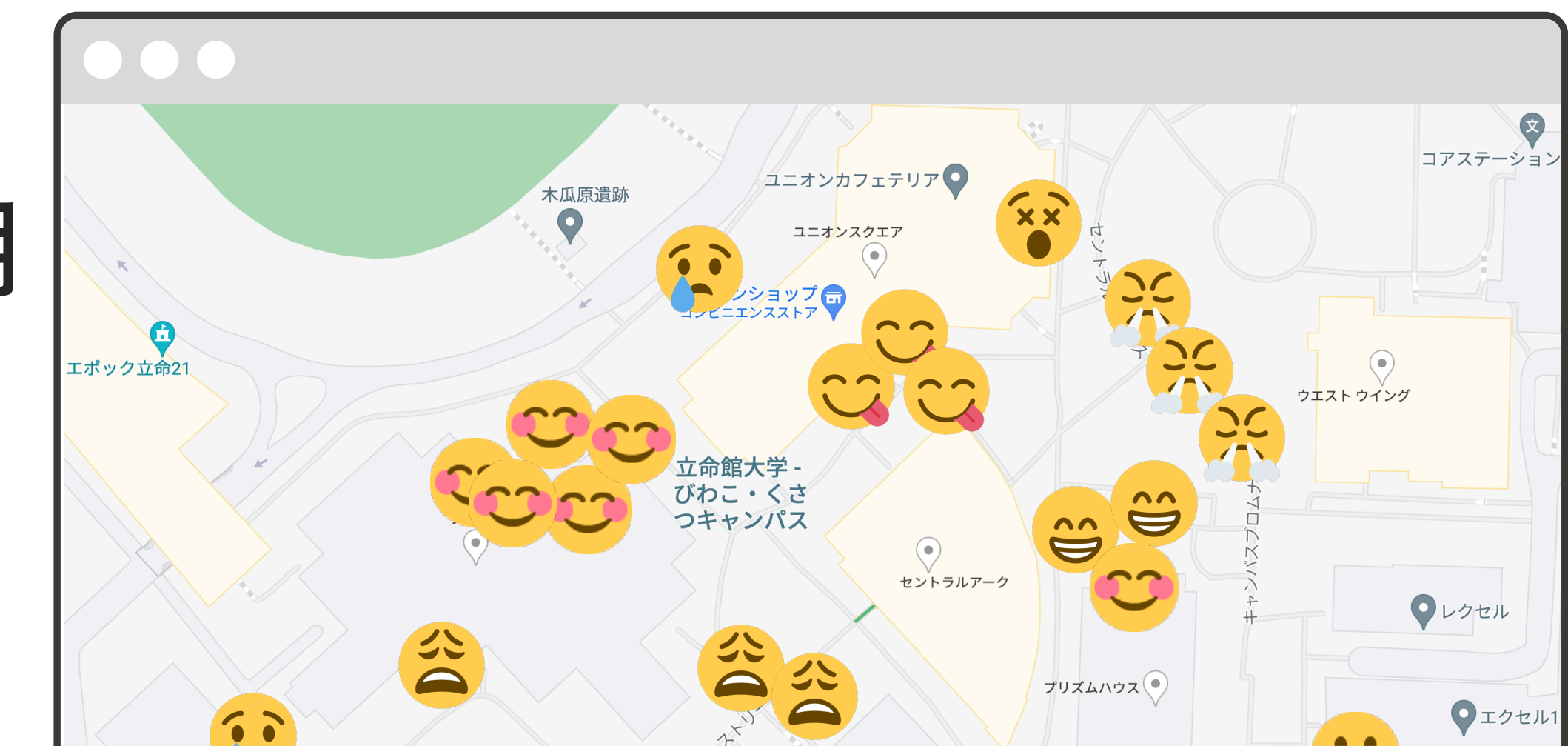
感情の傾向・原因を振り返る

個人での振り返り

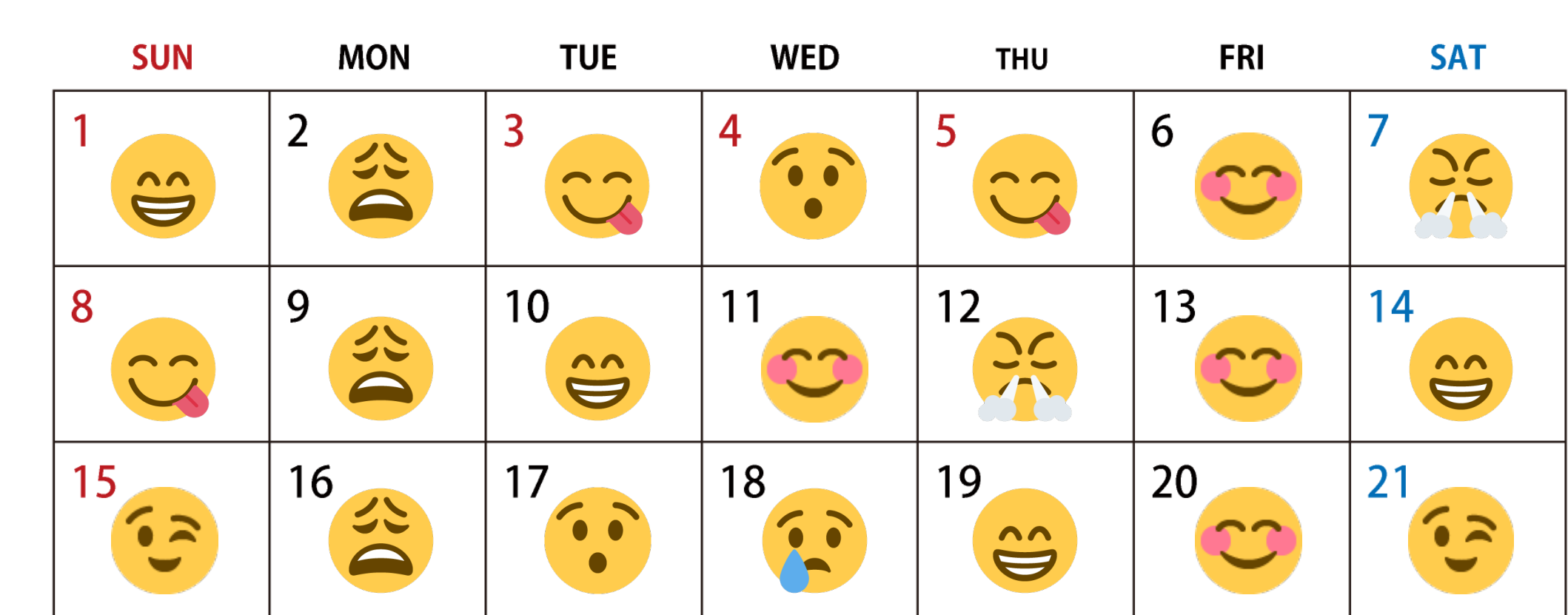
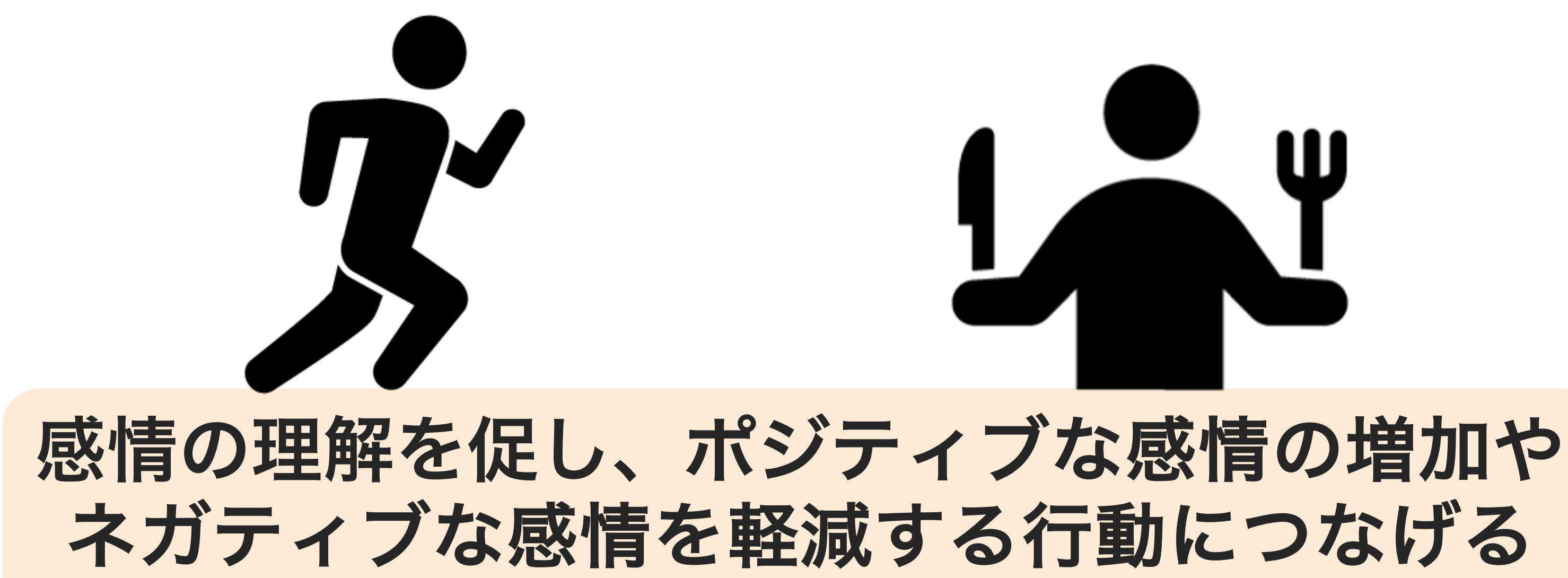
感情に関連する背景情報(位置、時間)を使用

以下も検討中

- 生体情報(心拍数や運動量など)
- 社会活動量(他者との関わり合い)



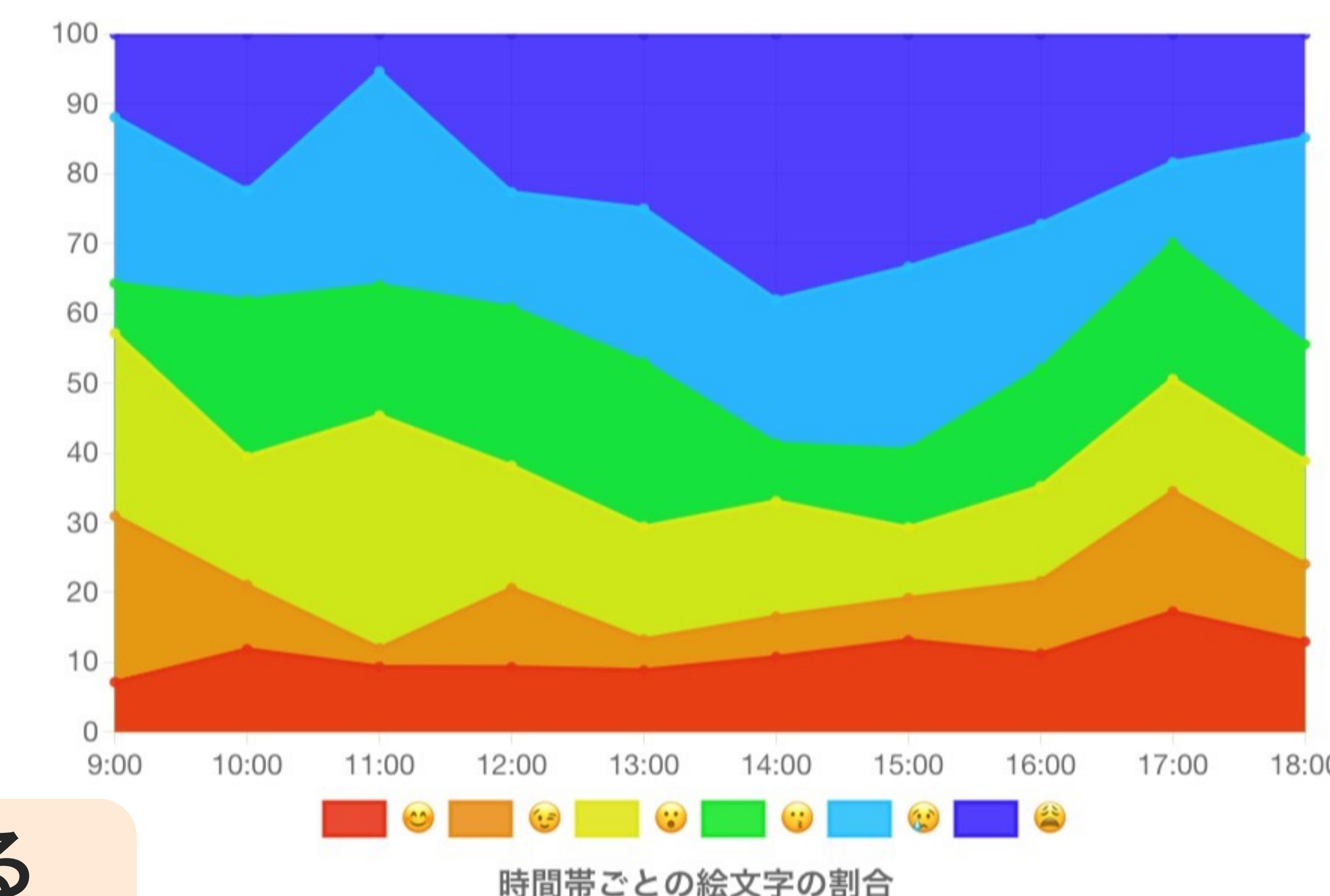
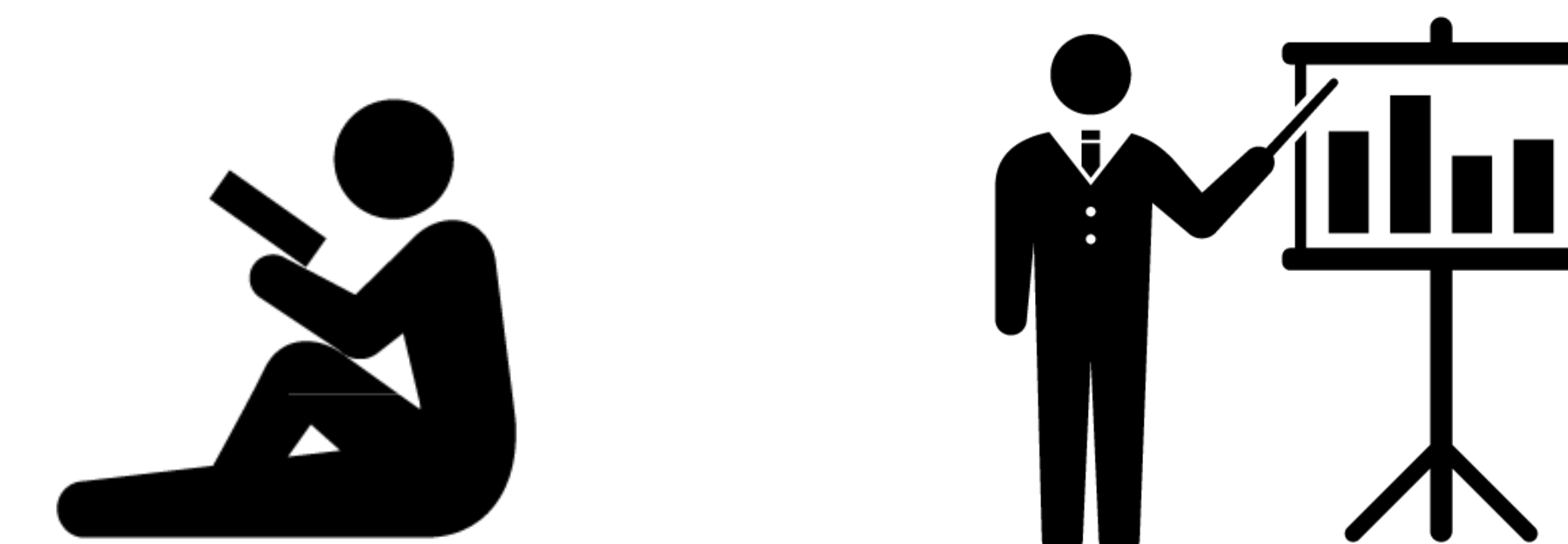
位置情報 × 絵文字



カレンダー × 絵文字

組織での振り返り

社員のメンタルヘルス状態を
管理するツールとして利用する



感情の時間的変化